

(別紙1) 《会派用》

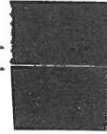
令和元年 11 月 12 日

狭山市議会議長

加賀谷 勉 様

会 派 名
代表者氏名

日本共産党
猪股 嘉直



視 察 報 告 書

このことについて、別紙のとおり、報告がありましたのでご報告します。



代 表 者 猪股 嘉直 様

視察者 (代表) 氏名 猪股 嘉直

視 察 報 告 書

このことについて、次のとおり報告します。

1 期 間 令和元年 11 月 5 日～令和元年 11 月 5 日 (泊 日)

2 視 察 事 項

..... 所沢市西所沢駅

3 調 査 事 項

..... 所沢市西所沢駅西口開発について

4 視察参加人数 2 人

参加者は次のとおり

..... 猪股 嘉直 衣川 千代子

5 調 査 概 要

..... 別紙の通り

所沢市 西所沢駅西口開設の工事に関する調査報告

2019年11月12日

猪股 嘉直

衣川 千代子

- ① 主な調査項目は、西所沢駅西口開設工事の経過、②駅周辺整備の有無、③市民・利用者の意見の掌握と反映、④駅の橋上化・自由通路についての方針の取りやめ、⑤鉄道事業者との話し合いなどの調査項目をたてた。



- ② 西所沢駅周辺で大きな問題は、駅東側と西側が鉄道で分断されており、特に開かずの踏

切で有名な場所となっている。そのため、古くから地域自治会長等から請願が出されていた。2005年に改札口開設期成会が40人～50人の住民で発足し、2012年には開設検討協議会から「自由通路」「橋上駅舎化」の提言書も提出される。

市は13年頃から「自由通路」「橋上駅舎化」について検討を開始し、同時に地権者への交渉も開始した。その後、西口開設に関する西口地区の意見交換会等を開催し、整備計画を煮詰め計画策定を行ってきた。西口開設用地も取得し、西武鉄道との協議のうえ、自由通路で進める方針も決定した。

住民との間では、この経過の中で「改札口開設期成会」を開催し、情報を発信し、また、住民の声もこの「会」を通じて把握してきた。さらに18年には西口開設に関する意見交換会を西口側、東口側他で合計5回開催してきた。

いよいよ、工事を進める上で工事見積もりを作成する段階で、高压線の移動など莫大な経費のかかる工事(当初予算の3倍にあたる70億～80億円に)になることが判明し、西武鉄道側から、所沢市に「それでも実施しますか」という打診があり、再度検討、住民の意見も聴きながら、方針を見直した。

これまでは開いていなかった西口に改札口を設ける、約300メートル離れた場所に送迎車の転回可能な場所を設けるなどで対応することに決定した。大幅な予算の縮減となった。

- ③ 所沢市の事業で最も感心したことは、当初から住民の会と情報を交換し、意見を募り、耳を傾け、その上で計画・方針をつくっていたこと。当然のことだが、その事を行っていたから、西武からの「かかりすぎるけど、実行しますか」という問いかけにも、住民としっかり意思統一して対応できたことと思う。狭山市が絶対に学ばなければならないことだと思う。